

近畿ブロック女性のつどいに181人 滋賀県草津市で開催

近畿ブロック女性のつどい in 滋賀が草津市で開催され181人が参加。地元産品の物販もあり、会場は満員、熱気があふれました。(京都は14支部36人)

オープニングは甲賀市信楽在住の「笛を吹くおしゃべりな歌手」湊愛子さん。

続いて家庭栄養研究会顧問の山崎万里さんが「コロナの警告 食から平和を考える」と題して講演されました。

最後に6府県から1支部ずつ発言、京都からは亀岡の高向美智子さんが支部女性部の班活動について報告(内容は2面に)、経験を交流しました。

(講演内容は11月号に掲載します)

最後に今年開催の滋賀から、次回の兵庫へ引き継ぎ式。京都は2025年開催です。



とても分かりやすかった山崎万里さんの講演。内容は来月号に掲載します。

女性部だより

年金者組合
京都府本部
女性部発行
2023年
10月15日発行
(第192号)

「たすけあい 介護サービス」

年金者組合員は介護保険制度を利用した福祉用具使用時の利用者負担分(1割)の助成を受けられます。ベッド、車いすなど13種類。まずは相談してください。

受付窓口

03-6256-8967

- ・全労連共済共済事業会
- ・日本フロンティアネットワーク

市長選へみんなの力を集め
「住民を大切にすまちに」
タペストリーを作りましょう

来月2月に行われる京都市長選挙に向けて女性部でタペストリーを作り、私たちの要求をかなえてくれる候補者を応援しましょう。

4年前に続き、今回も弁護士福山和人さんが立候補を表明され、すでにひとり宣伝を始めていらっしゃいます。「市民にとってええもんはええ、あかんもんは変える姿勢でやる」「候補者が一方的に話すのではなく、市民とやり取りすることが大事」とリアルやオンラインで集会を開き市民の意見や要求を聞き取っておられます。敬老乗車証に節減はわずか。制度は元に

「福祉は維持しながら市財政を解決したい」と話されます。市長になっても、そうために運動を。

そこで女性部は、市内10支部に協力をお願いしてタペストリーを作ります。支部で布に寄せ書きをし、本部で作る横断幕とつなぎ合わせて1枚のタペストリーに仕上げます。皆さんの要求や願いをたくさん書き込んでください。

また、市内支部の女性部と協力して各地で宣伝を予定しています。府内支部のみならず、つながりを生かしながら、つなごうをしましょう。

市長選挙勝利年金者組合決起集会12月4日(月)午後ラポールにご参加ください。

亀岡支部が報告

「近畿ブロック女性のつどい」各府県交流で、京都府を代表して亀岡支部の高向美智子さんが発言されました。

亀岡支部女性部は140余人、毎月1回定例委員会（10人）を開き、①ひとりぼっちの会員さんをなくそう②楽しみいっぱい、先人の知恵を学ぼう③社会に目を向け、みんなと歩もうの方針を持ち、学習会、食事会、4つの地域別集会などに取り組んでいます。

亀岡は面積が広く交通手



発言する高向さん

段も貧弱で集まりにくいいため、4つの地域別班を作り「集まり」をしています。それぞれ「集まり」は楽しく、お互いの交流が深まるものになりました。

①食事を楽しみ近況報告②お花見をしながらゲームや歌③バラを見た後おしゃべりで交流④集会所で歌声喫茶を楽しむ、と各班の要望に沿った集まりをして喜んでもらいました。

学習会にも取り組んでいます。高齢女性としていろいろな悩みや不安を抱えながら日々暮らしています。そのような状況について女性の視点から学び、考えることが大事ではないかと女性部独自の学習会をしています。取り上げたテーマは原発、年金、介護、医療、生きがい等。介護福祉士を講師に迎えた「介護保険学習会」にはたくさんの方の参加があり、ひとり暮らしになった時の不安、入所した場合の費用負担の心配など、高齢女性の生々しい発言が続きまし。これからも身近な問題をとり上げた学習会を計画したいと思っています。

会員さんの高齢化や社会保障制度の貧弱化が進むなか、ひとりひとりの要求を大切にしたい女性部活動を力を合わせて進めていきたいと考えています。

支部交流のトップバッターの高向さんは、まず聞いたばかりの講演を生かしてウンチのことからユーモア一杯に話したし、会場を見渡しながら余裕のある話しぶり、声の大きさ、高さ、早さもとても良く、時間もきっちり守っての発言でした。

何より、支部女性部の工夫や努力が組合員みんなの喜びにつながっていることが、具体的に伝わるすばらしいものでした。
(栗倉)

「近畿ブロック女性のつどい」では、午前中に特別企画として、「東海道草津宿めぐり」（があり、綴喜支部から4人の方が参加されました。そのうちの1人、内野多津子さんが感想を寄せてくださいました。

観光を企画してただけて良かった

歓迎コンサート



湊愛子さんご夫妻が登場され、オペラの一節から東北民謡まで多彩なすてきな歌声、何種類もの笛の演奏、ご夫婦での演奏など、たっぷり楽しみました。会場全体で「青い空は」なども歌いました。

おふたりは、色々な催しに呼んでいただければどこにでも行きますとのこと。山科支部「文化のつどい」（11月17日午後、東部文化会館、無料）にも出演されます。

です。ボランティアさんには、大変丁寧に対応していただきました。本陣を中心に見学しました。部屋だけでなく湯殿や土間も丁寧に保存され、昔の人々に思いをはせるとい感じになりました。参加できて良い時間をもてました。このつどいの運営に携わってくださったすべての方に感謝します。